

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
SB3	地域社会学 Regional Sociology	竹元 秀樹	専門	2	選択	2年春

科目の概要

地域社会は生活に不可欠な空間である。ゆえに社会のあらゆる問題に関係する。したがって地域社会をいかに正確にとらえるかが、社会問題を解決するうえで重要になる。具体的には、地方都市で行われている地域住民による地域活動(本授業では都市祝祭)に注目して、地域社会を社会学視点から多面的にとらえ、地域社会の現代における存在意義とこれからの可能性を探る。地域社会に関する知識の獲得・活用・課題解決を通して、本学ディプロマポリシーの一部要件を充足することが目標である。地域社会及び地域産業の活性化を支援する地方都市の第三セクターでの勤務体験を活かして、本授業の到達目標の達成に取り組む。

学修内容	到達目標
現代の地域社会が抱える地域課題について事例を通して理解し、議論する。 地域課題の歴史的な淵源を現代史の理解を深めながら、議論する。 地域社会をとらえるための重要概念を理解し、じっさいに活用しながら地域課題の解決法について議論する。	現代の地域社会が抱える様々な地域課題の社会的・歴史的背景を理解し、説明できるようになる。 地域課題について複数の視点・アクターの立場から考察を行えるようになる。 履修者自身の生活と地域社会がどのように関わっているのか自覚し、課題発見ができるようになる。

学生に発揮させる社会人 基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す 力	主体性	課題演習に必要な知識について、文献やウェブサイトを用いて自己学修することができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても定めた目標達成を追求することができる。
考え抜く 力	課題発見力	データや資料を複眼的に観察し、多様な解決すべき課題を発見することができる。
	計画力	
	創造力	多様な解決法を柔軟な思考で提案することができる。
チームで働く 力	発信力	グループディスカッションにおいて聞き手のことを考えた発言をすることができる。
	傾聴力	自分とは意見の異なる人の発言を積極的に理解し、自身の考察に活かそうとすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	講義やグループディスカッションに支障をきたす行動を慎み、マナーや礼節を大切に授業態度を維持することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

適宜、教材を配布する。参考文献として、
竹元秀樹, 2014, 『祭りと地方都市』新曜社。
中筋直哉・五十嵐泰正編著, 2013, 『よくわかる都市社会学』ミネルヴァ書房。

他科目との関連、資格との関連

本学部での取得できる資格との関連: ボランティア実務士(選択)
教職(高等学校教諭一種免許状 公民)(選択)

学修上の助言	受講生とのルール
一日ひとつ気になるニュースを説明できるようにする。	リアクション・ペーパーの提出・記述は必須である。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)実技・口述試験	40	①	✓	論述形式の筆記試験を行う。講義で説明した内容をベースにして、自分の意見を展開する。これからの地域社会の存在意義と可能性について考える問題を提示する。	
				②	✓		
				③	✓		
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		30	①	✓	授業の途中で小テストを実施する。前半の講義で扱った本授業の基本的な知識の定着を図る。
					②	✓	
					③	✓	
					④		
					⑤		
		レポート		20	①	✓	毎回講義終了後、リアクション・ペーパーを提出する。講義を聞いての感想・意見・質問・要望を記述して、教員との双方向のコミュニケーションを実現して、講義のレベルアップにつなげる。
					②	✓	
					③	✓	
					④		
					⑤		
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)			①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	主体性 課題演習に必要な知識について、文献やウェブサイトを用いて自己学修することができる。 実行力 困難があっても定めた目標達成を追求することができる。 課題発見力 データや資料を複眼的に観察し、多様な解決すべき課題を発見することができる。 創造力 多様な解決法を柔軟な思考で提案することができる。 発信力 グループディスカッションにおいて聞き手のことを考えた発言をすることができる。 傾聴力 自分とは意見の異なる人の発言を積極的に理解し、自身の考察に活かそうとすることができる。 規律性 講義やグループディスカッションに支障をきたさず行動を慎み、マナーや礼節を大切に授業態度を維持する。	
				②	✓		
				③	✓		
				④			
				⑤			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
合計が90%以上にS(秀)、80%以上にA(優)を与える。両者はともに到達目標 ~ を満たしている。さらにS(秀)を獲得する者は、自身の問題意識に基づいて独自の議論すべき課題を発見し、履修者・教員に発信・問題提起することができる。	合計が70%以上に良を与える。3つの到達目標のうち2つを満たしている。C(可)は1つないしは2つを不十分ながら満たしている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	イントロダクション:授業の概要の説明	講義およびディスカッション	地域社会学の狙いと達成目標を理解し、学修計画を立てることができる。	(予習)シラバスをよく読んでくる。疑問点があれば、メモをして質問する。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 計画力
2週 /	地域問題の把握:問いの設定	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力
3週 /	地域特性・地域構造の把握:社会調査の三つの罫	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力
4週 /	地域特性・地域構造の把握:農から脱却するための方法	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力
5週 /	先行研究との対話:先行研究の理解	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力
6週 /	先行研究との対話:コミュニティ意識論からの仮説の設定	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力
7週 /	社会制度と地域社会:対象事例の特徴と変容過程	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力
8週 /	社会制度と地域社会:住民自治活動の継続性の分析	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力

回数	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	自発的地域活動の分析 : 対象活動の構成と変遷	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力
10週 /	自発的地域活動の分析 : 地域活動の成長要因の分析	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力
11週 /	伝統的祝祭の実像 : 対象事例の構成と運営主体	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力
12週 /	伝統的祝祭の実像 : 伝統を継承する意味の解明	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力
13週 /	事例分析の総括: 地域社会において共同性を形成することの解明	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力
14週 /	地域政策と地域社会: 地域ガバナンス構築への提言	講義およびディスカッション。意見の異なる相手と議論しながら課題の理解を深める。	事例に基づいた討議に積極的に参加し、自身の意見を述べるとともに他者の意見に耳を傾け、共通理解を作ることができる。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)疑問点や興味をもったこと、そして教員から提示された課題について、教材・関連文献・インターネットを使って調べる。	180	主体性 発信力 傾聴力
15週 /	まとめ: 地域社会の存在意義と可能性	ディスカッション	第一週で立てた学修計画と実際の学修を照らし合わせ、一学期の成果を自己点検する。	(予習)教員から示された講義のキーワードについて、その内容を事前に調べてくる。 (復習)これまで学んできたことの総復習を行い、定期試験に備える。	180	主体性 発信力 傾聴力

能力名: ①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力